2030年への道標、SDGs。

2030年、どんな世界にしたいですか―。貧困、格差、労働、気候変動、乱開発などの問題を抱えた私たちの世界は存続の危機に瀕しています。この危機感から世界各国、多様な立場の思いを結集し、目指すべき世界の姿を描いた「SDGs（エスディージーズ）：持続可能な開発目標」が2015年、国連で誕生しました。私たちに一体どんな関りがあるのでしょうか。

「誰一人取り残されない」「最も遅れているところに第一に手を伸ばす」と、すべての国連加盟国が誓いSDGsは誕生しました。SDGsが記されている「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、地球と人間及び繁栄と平和のための行動計画です。女性、若者、先住民、障害者など社会的少数者の意見を積極的に取り入れるなど、すべての人々が社会変革の当事者である意識を持てるよう丁寧に策定されました。

SDGsは17の大きな目標と169の具体的な目標で構成されています。SDGsにより、実現したい世界が描き出され、世界の課題が共有されました。同時に、社会変革による新たなチャンスを得るためのヒントが示されたとも言えます。また、2030アジェンダでは政府、自治体、市民団体、企業、科学界などはもちろんのこと、私たち一人ひとりの変革を求めています。では、何から始めるといいのでしょうか。

もっとも大切なのは「取り残されている存在」に目を向けることです。北海道では、旧産炭地の人口減少と高齢化、アイヌ民族に対する無理解と格差、産業と生物多様性保全のバランス、働き手不足、気候変動による災害の多発化、ブラックアウトを招いたエネルギー供給システム、外国人労働者との関係構築、四年制大学進学率に見られる男女格差などの問題を抱えています。例えばこれらの問題の中に、取り残されている存在はいませんか。

2030アジェンダの主要原則は「人権」です。自身の「権利」を自覚することも大切です。一人ひとりが自らの権利を理解することで、他者の権利を大切にする第一歩となります。持続可能な世界に向けて、「自分はどう生きたいか」「他者はどう生きたいか」という問いに真摯に向き合うことが大切です。

2012年、SDGs策定が決まった国連の会議場で、ホセ・ムヒカ元ウルグアイ大統領は言いました。「貧しい人とは少ししかものを持っていない人ではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と。消費主義の生活スタイルを見直そうと呼び掛けたのです。人も物も大事にする。地産地消を心掛ける。不必要なものは断る。公正に作られたものを選ぶ。好奇心を持つ。近しい人の違いほど受け入れる。偏見を持つ。自分を知る。持続可能な世界実現にはすべての人の協力が必要です。世界を変えるのは、私たちです。

RCE北海道道央圏協議会
有坂美紀

東京都出身。水産業界紙記者を経て、環境保全活動のため渡豪。帰国後、北海道環境財団で協働のコーディネーターに。東日本大震災を機に持続可能な社会を模索し、中南米を縦断、スリランカでNGOスタッフに。現在、国連大学認定の持続可能な開発のための地域拠点・RCE北海道道央圏の事務局長を務め、北大大学院でコミュニケーションを研究。公正な取引により公正な社会を目指す「フェアトレード」を普及させる団体の事務局長としても活動する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGsの取組をご紹介します――①
札幌チャレンジドとSDGs
NPO法人札幌チャレンジド

札幌チャレンジドは2000年、自立をめざす障がいのある人（チャレンジド）がITを活用して社会参加と就労を実現することを目的に活動を始めました。団体設立後、約19年が経ち、今、札幌チャレンジドは、障がいのある人の「キャリアデザインセンター」としてさらなる社会課題解決に挑戦しています。

パソコンが大好きな中高生のチャレンジドは、放課後等デイサービスでマナビ、拓き合いながら自分の将来のキャリアを描く。

パソコンを使って働きたいチャレンジドは、就労継続支援サービスのメンバーとして企業から受託した業務に従事して就労のキャリアを積み重ねる。

企業で働きたいチャレンジドは、就労移行支援サービスのメンバーとして必要なスキルを身に付け、企業で働くキャリアに挑戦する。

札幌チャレンジドは、キャリアデザインセンターとして「ITでマザル、ハタラク、拓き合う」社会を実現することで、SDGsがめざす「誰一人取り残さない社会（No one will be left behind）」に貢献します。

3 すべての人に健康と福祉を

ITでマザル、ハタラク、拓き合う社会を創ります。

- 道内唯一のキャリアデザインセンターを目指します。
- 就労継続支援A型では、在宅就労（テレワーク）を推進しています。
- 就労移行支援では、視覚障がいの人への専門的な就職支援も実施しています。

4 質の高い教育をみんなに

障がいのある中高生から大人まで人材育成に寄与します。

- 放課後等デイサービスでは、ほぼマンツーマンで自分の学びたいことを学びます。パソコン学習を通して自信をつけます。
- 就労移行支援では、パソコンとコミュニケーションのカリキュラムをしっかり受講することでスキルを身に付け、高い就職率を実現します。

8 働きがいも経済成長も

社会的企業として事業を通じて社会問題の解決に貢献します。

- 就労継続支援A型では、雇用契約を結んで働きます。各種データ入力、動画監視、Webアクセシビリティチェックなど一般企業の業務を受託しています。
- 就労定着支援では、企業に永く勤められるように定期的に相談支援を実施しています。

10 人や国の不平等をなくそう

障がいのある人への合理的配慮を実践＆推進していきます。

- 障がい種別を問わず、身体・精神・発達・軽度の知的障がい・難病等の人が利用しています。
- 毎日の利用のために全ての障がい特性に配慮した環境整備をしています。

17 パートナーシップで目標を達成しよう

企業、行政、NPO、ボランティアなど、多様な組織・人と連携します。

- 札幌市から札幌市障がい者ITサポートセンターの事業を受託しています。（2003年10月から）
- 就労継続支援A型では、10社程度の企業から定期的に業務を受託し、win-winの関係を構築しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

NPO法人 札幌チャレンジド
ITでマザル、ハタラク、拓き合う。
mixcom

•特定非営利活動法人（NPO法人）札幌チャレンジド
〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1番地　北苑ビル2F
TEL.011-769-0843 FAX.011-769-0842
http://s-challenged.jp/